

## 長浜市3病院に関する提案

現在、長浜市で市立長浜病院、長浜赤十字病院、湖北病院の3病院の統廃合や役割分担が議論されていますが、これについて地元医師の立場でこう考えます。

	基本方針	方策
市立長浜病院	赤字幅を縮小し、黒字化を目指す。 <b>独立運営を継続。</b>	小児科・婦人科の立て直し(常勤医の招聘) 断らない救急診療部門を運営 ヘルスケアセンター研究所の充実による自費診療による増益
湖北病院	早急な施設の再建 長浜病院とのより緊密な連携を確立する。 <b>独立運営を継続。</b> 周辺施設との連携強化 (患者確保と医師派遣)	早急に予算再編と再建に着手する 長浜病院と連携し、市北部の救急初期診療を担当、状態安定後に長浜病院に転送するシステムを確立する。 周辺介護施設のバックアップ施設として機能させ、収入も確保する
長浜赤十字病院	3次救命救急センター・周産期医療センターとしての役割・責任を強化	特に、高度救命救急センターとしての役割を十分に果たすように求めていく

2035年までの人口背景を考えると、三病院の独立運営は可能と考えます。また、それを現実化する方策を提案します。コンサルタント会社の提案を鵜呑みするのではなく、長浜らしい医療体制で長浜病院・湖北病院の独立運営を支持・提案します。

## 「コラム」 今変えないと

長浜市議会の議員定数 22 名に対して 5 月の立候補説明会の参加者を元にした新聞報道では次回の市議会議員選挙に立候補を検討している候補者は、現職 18 名、元職 1 名、新人 9~11 名とされています。新人候補の中には、いくつかの政党候補もおられるようで、激戦が予想されています。

長浜市では合併後の選挙で選出される議員は、地域や政党の支援基盤を背景に活動される議員が多数です。みなさん背景に応じた仕事をされておられますが、陳情・要望型の質問・提案が多数です。

執行部と議会が車の両輪で市を発展させていくというのが、地方自治における二元代表制ですが、陳情・要望だけでは議会が行政への「要望窓口」にしかありません。

本来二元代表制の議会では、行政の監視、政策の提案、予算の評価、実施事業の評価、将来のビジョンの提示が議会に求められる役割です。

住んでいる皆さんの声や要望はとても大切ですが、陳情・要望だけでは不十分で、行政の監視の機能が果たせません。行政は前例踏襲に陥りがちなので、新しい提案は議会が担う必要があります。ただ、議会には執行権はありません。執行部が同意する提案をしなければ、実現可能性を欠く提案になってしまいます。これから益々執行部の専門職員と対等に議論できる知識と見識をもつ議員が市の発展のためには必要になります。議員は提案までです。最終的には執行権を持つ市が行う事業なので行政の手柄になりますが、それで良いのです。

もちろん、住民の声を丁寧に聞き行政に届けることは議員の重要な役割です。住民の声をしっかり聞くだけでなく、行政を監視し、将来の長浜市の発展につながる政策提案を行える見識と専門性を持つ候補者を選ぶことが、長浜市の持続的な発展につながると考えます。

## (さたけてるゆき後援会申込書)

さたけてるゆき後援活動について下記の通り申込みます。

◎個人情報の取り扱いへの同意について □下記の個人情報の取り扱いに同意します。

ご記入いただいた個人情報は、後援会活動に関するご連絡、活動案内、確認業務のために使用し、適切に管理します。ご本人の同意なくご入力いただいた個人情報を第三者へ提供することはありません。(同意いただける場合、□に✓を入れてください)

(ふりかな)			生年 月日	大正・昭和・平成 年 月 日
お名前				
ご住所	〒 -		性別	男・女
ご連絡先	<input type="checkbox"/> 電話番号 - -			
	<input type="checkbox"/> メールアドレス @			
応援・ご参加いただけること	<input type="checkbox"/> 後援会の入会を希望する		<input type="checkbox"/> チラシ・ポスターの配布に協力できる	
	<input type="checkbox"/> 知人・友人に紹介できる		<input type="checkbox"/> 集会・ミニイベントに参加したい	
	<input type="checkbox"/> 立て看板の自宅設置に協力できる		<input type="checkbox"/> その他	
	<input type="checkbox"/> ポスターの自宅掲示に協力できる ( )			
上記で当てはまるものすべてに✓を入れてください。				